

ロボット導入合同相談会用（事例集）

企業概要

【企業名】

株式会社日本キャリア工業

【担当者役職・氏名】

技術戦略室長 三輪保生

【担当者連絡先】

TEL : 089-908-5121

E-mail : y-miwa@nippon-career.co.jp

提供可能なサービス内容

【提供可能なソリューションの種類】

※該当するものを○で囲んでください。（複数選択可）

その他の場合は具体的内容を記載してください。

1 製造向け

- ・自動組立ライン
- ・溶接ロボット
- ・加工、切削ロボット
- ・塗装ロボット
- ・その他（ ）

2 物流・倉庫向け

- ・自動搬送ロボット（AGV/AMR）
- ・ピッキングロボット
- ・パレット積み下ろしロボット

3 食品

- ・食品加工ロボット
- ・包装ロボット
- ・クリーンルーム対応ロボット

4 サービス

- ・接客ロボット
- ・清掃ロボット
- ・配膳ロボット

5 検査・品質管理

- ・画像検査ロボット
- ・非破壊検査ロボット

6 その他

- （ ）

ロボット関連のこれまでの納入実績

【実際の導入事例及び導入後の効果】

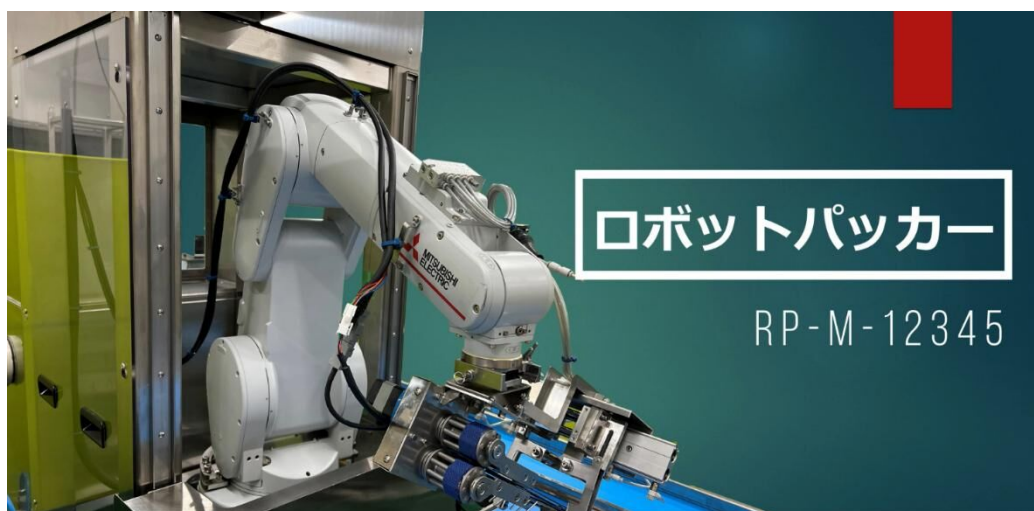
1. ロボットパッカー（スライス済み食肉のトレーへの自動盛付け装置）事例

【従来の盛付け方法】

スライサーから切り出されたスライス肉を作業員によってトレーに手で盛付けを行ってきた。通常、スライサー1台当たり盛付けには2名の作業員が必要であり、スライサーが10台くらいの中規模プロセスセンター（食肉加工工場）では20名以上の盛付け作業員が必要であった。

【ロボットパッカーの導入事例および効果】

- ①ロボットパッカーではこの盛付け作業をロボットによって完全自動化することが可能となり、例えばスライサー2台＋作業員4名で手盛付けを行っていた場合、スライサー2台＋ロボットパッカー2台＋作業員（手直し要員）1名で生産を行うことができるようになった。
- ②ロボットに装着されるハンドを交換することで、普通の鱗列状態（生姜焼き等）の盛付けだけでなく、バラ肉の横折等の多様な盛付けにも対応することができる。また、作業員の習熟度によらず、均一な盛付けも可能となる。



ロボット関連のこれまでの納入実績

2. トレーローダー（値付け後トレーのコンテナへの自動投入装置）の事例

【従来の投入方法】

プロセスセンター内で包装及び値付けされたトレーを配送先の店舗毎に人手でコンテナに投入している。約60ヶ/1分のトレーを1名で処理しなくてはならない。

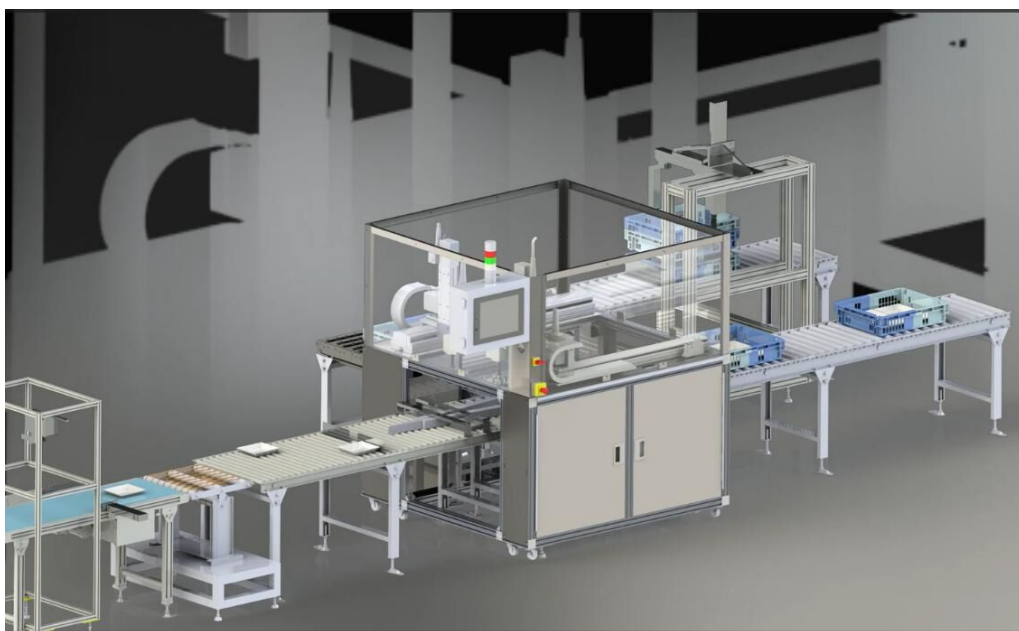
【トレーローダーによる期待される効果】

このトレーローダーは現在開発中で、年内の上市を目指しており、まだ導入実績はないが次のような効果があると考えている。

①包装/値付けラインは通常2名/ライン体制だが、1名への省人効果が見込める。

②これまで、コンテナへ投入する作業者が値札ラベルの貼付状態や印字状態の目視検査を行ってきたが、トレーローダーに付属する画像処理装置によってこれらの品質検査も自動化される。

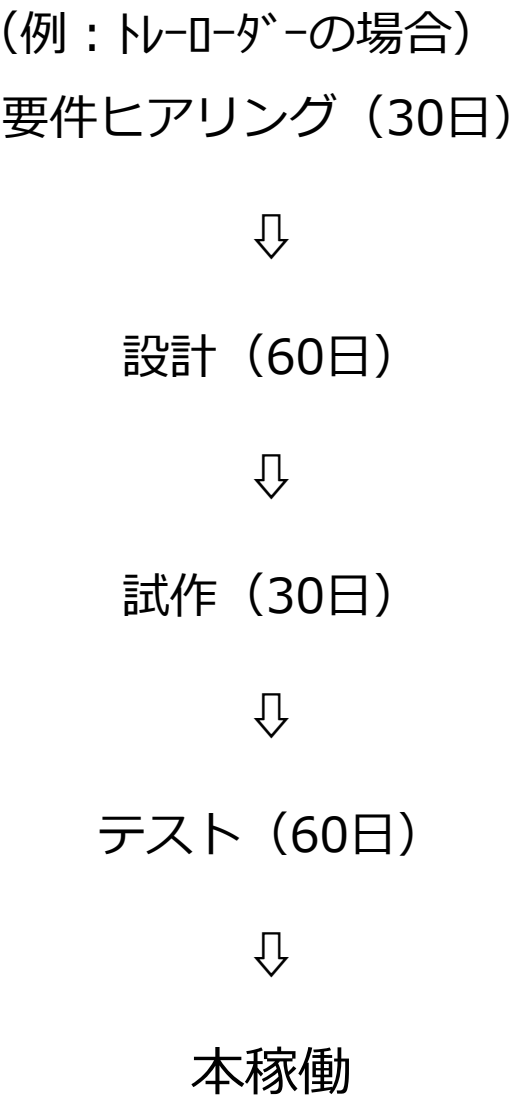
③食肉トレーのみではなく、ハンドを工夫すれば、惣菜等の多様なパッケージにも展開可能である。



自社の優位点

上記のロボットパッカーの開発においてもそうだったが、一般的に市販されているようなロボットハンドでは食肉のような不定形/やわらかい/粘着力が高いワークに対しては対応できなかったが、ロボットのハンドから開発を行い、ワークに応じた最適な装置を開発していくことができます。
また、当然にことながら、お客様視点に立って、ニーズのヒアリング/仕様検討を行い、コストも含めて最適な提案を進めていきます。

導入時
プロセス・
スケジュール
目安



料金目安

Sier事業はこれからのため、料金の目安は未定です

将来構想

当面は弊社が携わってきた食品加工分野をドメインに新規開発を進める計画ではありますが、それとは違った分野でも弊社にとって新たな技術獲得や市場開拓のチャンスがあると判断すれば、参入を進めていく予定です。